

基準該当放課後等デイサービスぽっかぽか 支援プログラム

作成日:令和6年7月13日

社会福祉法人しらかばの会 法人理念

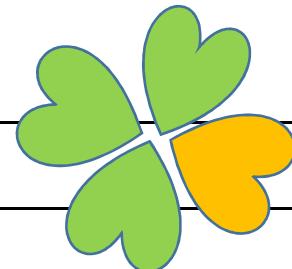
障がいのある人達に、人間としての尊厳に基づく自由で個性的な「本人主体」の生活が送れ、生涯にわたって、自己実現の出来る安定した生活の場を保障するとともに、多様な福祉サービスを提供し社会福祉事業を推進する。

方針(目標)

学校通学中の障がいを持つ子供たちが、放課後や夏休み等の長期休暇において、学習や生活能力向上のための訓練等を行いながら、自立するお手伝いをし、安心して楽しく過ごせる時間を提供します。一人一人の個性を大切にし、できる事や可能性を見つけ、長所を伸ばしていくよう取り組みます。

営業時間 平日放課後14:00~18:00(土日・祝休み) 長期休み9:00~17:30

送迎 あり



本人支援	健康・生活	検温・手洗いを実施し、習慣化するように支援します。食べる時や書く時の姿勢を整え、保つ練習をします。トイレに行く事が苦手なお子さんに対し、様子を見ての声掛けをし、自ら行く事ができるように練習します。
	運動・感覚	野球・サッカー・鬼ごっこ・缶蹴り・フリスビー・バドミントン・ソリなどの屋外遊びや、トランポリン・卓球・ダーツ・ブロック・ドミノ・パズル・工作などの室内遊びを通して、体や指先を動かします。
	認知・行動	来所から退所までの流れ(ルール)をイラストなどで視覚化し、お子さん自身に把握して頂けるように一緒に確認します。その後は流れに沿って自ら行動できるように練習をしていきます。切り替えの場面ではタイマー等も活用します。
	言語・コミュニケーション	あいさつを大切にします。宿題を一緒に行います。しりとり・なぞなぞなどの遊びを通して、考えた事を言葉にして発する練習をします。しりとり・なぞなぞ・すごろく・ドミノ・宝探しなどの遊びを通して、成功体験や負けてしまった(失敗してしまった)時の体験をする中で、感情のコントロールのコツを学びます。 学校や家の出来事を話す事で、あった事を思い出して相手に伝え、その時の気持ちなどを表す練習をします。
	人間関係・社会性	一人ひとりのお子さんの良い所を見つけ、たくさん褒めます。 人形やミニカー、大きなブロックなどを使ったごっこ遊びを通して社会性の発達を支援します。 一人遊びが好きなお子さんに対して、一人(職員とのマンツーマン)の時間も大切にしながら、他のお子さんと遊ぶ機会を設け、ルールを守って遊ぶ事を練習します。
	地域支援・地域連携	学校・行政(役場福祉係・保健師)・児童館・保育園・相談支援センター・相談支援専門員等と必要に応じて情報共有し、お子さんやご家族に合った支援を提供できるように連携していきます。
移行支援	当事業所で少人数での集団に慣れて頂き、児童館等の大人数での場への移行につながるように支援します。	
家族支援	連絡ノートや電話・メール、送迎時等にご家庭での状況をお伺いし、可能なアドバイスをさせて頂く等、ご家族に寄り添います。	
職員の質の向上	児童発達に係る研修、権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止研修等、各研修に参加します。避難訓練を実施し、有事に備えます。	
主な行事等	長期休み中にレクリエーションを実施します。また、水遊び・ソリ遊び・虫捕り等、季節に応じた遊びを取り入れます。	